

令和3年度（補正繰越）災害廃棄物処理に関する 仮置場設置運営モデル（中国四国地方）業務 報告書（概要版）

令和5年3月
環境省中国四国地方環境事務所

第1章 業務の概要

1. 業務の目的

中国/四国ブロックにおいても、地方公共団体における平時からの災害廃棄物発生量推計への支援や、仮置場が円滑に機能するために必要な検討を進めていく必要があり、特に、中小規模の地方公共団体を中心に、災害発生時に必要となる仮置場の設置運営等に必要な事項等を平時より検討し、整理するための支援を行った。

本モデル業務を通じて得られた知見を参考とすることによって、管内の地方公共団体だけでなく、それ以外の地域の自治体においても仮置場の設置運営に係る検討等が促進されることを目的とした。

2. 実施概要

(1) モデル地域

本年度は、鳥取県米子市、山口県宇部市、徳島県中央広域ブロック（中央広域環境施設組合を構成する阿波市、吉野川市、板野町、上板町）をモデル地域とした。

(2) 全体の流れ

モデル地域ごとに、概ね次の流れで実施した。

項目	概要
仮置場候補地の検討	想定災害による仮置場面積の必要量等
仮置場の設置運営に係る事項の検討	仮置場候補地（米子市と宇部市は3か所、徳島県中央広域ブロックは4か所）のレイアウト図（案）及び手順書（案）の作成
現地調査	レイアウトを作成した候補地を仮置場として使用する際の問題点や留意点等の把握
実地訓練の実施	各モデル地域1か所の仮置場候補地において、実際の災害発生を想定した仮置場設置運営に係る訓練を実施
レイアウト、手順書の課題整理・修正	実地訓練の結果等を踏まえ、レイアウト図（案）及び手順書（案）に係る課題と改善点等を抽出し、より実効性のあるレイアウト図（案）及び仮置場設置運営手順書（案）となるよう必要な修正を行った。

また、それぞれのモデル地域内の自治体職員等関係者と意見交換会をそれぞれ3回開催した。第3回意見交換会においては、有識者にも出席いただき、助言を得た。

項目	概要
意見交換会①	モデル業務の確認、仮置場候補地の選定等
意見交換会②	レイアウト案、手順書案、訓練実施内容の検討
意見交換会③	実地訓練の結果をふまえたレイアウト及び手順書の修正

第2章 鳥取県米子市での実施内容

1. 実地訓練の実施概要

目的	◇災害廃棄物処理の初動対応を重視し、大規模災害が発生した際に仮置場を民間事業者の協力を得ながら迅速に開設できるようにする ◇災害廃棄物の受入れ方法と分別指導を習熟する ◇多くの災害で問題となっている災害廃棄物持ち込み車両の渋滞回避策（迂回路）の設定と検証を行う
参加者	米子市、鳥取県産業資源循環協会、鳥取県清掃事業協同組合、鳥取県西部事業系一般廃棄物共同組合
主な特徴	★米子市職員と関係事業者の官民連携による実施 ★クリーンセンター建物を利用した迂回路の設定

2. 仮置場設置訓練の概要

レイアウト図をみながら、入口・出口の設置、車両動線確保、受付場所・積載物確認場所設置、分別に応じた区画設置を、コーン+コーンバー（区画の境や道路の中央等に設置）、ブルーシート（1区分1枚）、看板（青色のプラスチック製コンテナで簡易作成）、ライン引き等による）等の設営作業を実施する。同時に、車両に模擬廃棄物を積込む

3. 受入れ訓練の概要

手順書抜粋を参考に人員配置後、トラックの搬入から受付、廃棄物のチェック、必要な指導、誘導、荷下ろし、退場誘導を実施する。
 一次受付で単品車両と混載車両を振り分け、混載車両の場合は迂回路へ誘導



設置訓練の様子



受入れ訓練の様子

4. 実地訓練に係る課題の整理

訓練後に参加者及び見学者の振り返りを通じて課題が抽出した。

- 統括が重要
- 看板の視認性を高める
- 資機材の事前準備が重要
- 受付の時間が長い
- 下ろし忘れ、2周できる通路が必要
- 区分が要改善
- 通路8mの幅員が狭い

【見直し後のレイアウト図】



第3章 山口県宇部市での実施内容

1. 実地訓練の実施概要

目的	<p>◇職員自らが作成したレイアウト図（案）をもとに実際に仮置場を設営し、さらに災害廃棄物の受入れを行い、判明した問題点をふまえてレイアウト図（案）作成時の問題点、留意点を抽出し、レイアウトの改善案を作成する。</p> <p>◇宇部市が災害発生後の早期に仮置場を設置した場合、現状での市有備品等を使用して準備できる範囲を把握し、今後の仮置場の設置に向けた課題や事前準備事項を抽出・整理する。</p>
参加者	宇部市、山口県、山口市、防府市、長門市、美祢市、山陽小野田市、山口県産業廃棄物協会
主な特徴	<p>★市職員が作成したレイアウトで訓練実施</p> <p>★宇部市が準備できる備品で設営</p> <p>★住民に対する災害廃棄物の分別の周知（パンフレットの作成）</p>

2. 仮置場設置訓練の概要

発災直後に宇部市がすぐに準備できる資機材（受付用車両、コーン、コーンバー、すずらんテープ、分別看板、配布チラシ、養生テープ等）のみを使用して、レイアウト図（案）をみながら、入口・出口の設置、車両動線確保、受付場所・積載物確認場所設置、分別に応じた区画設置を、設営作業を実施した。（その後、不足分の資機材も使って設置を完了させた。）

3. 受入れ訓練の概要

手順書抜粋を参考に設置完了後に、災害廃棄物を積み込んだ車両の受入れ訓練を実施した。

4. 搬出訓練の概要

搬出車両である大型ダンプを運転し、レイアウト走行上の問題点等を点検した。



受入れ訓練の様子



搬出訓練の様子

5. 実地訓練に係る課題の整理

訓練後に参加者及び見学者の振り返りを通じて課題が抽出した。

- 各人員への明確な指示が必要
- 市のみで一定の資機材は確保できたが少ない
- 受付順番待ち車両への対応に課題
- 荷下ろし補助者に知識が必要
- 受付と荷下ろし補助の分別に関する連携が必要
- 通路幅10mでは搬出には狭い

【見直し後のレイアウト図】



第4章 徳島県中央広域ブロックでの実施内容

1. 実地訓練の実施概要

目的	◇災害時の片付けごみの分別について、住民への周知啓発の重要性を理解すること ◇仮置場の設置・運営に係る方法や手順について習得すること ◇場内管理や搬出のための資機材確保の事前準備の必要性を理解すること
参加者	阿波市、吉野川市、板野町、上板町、中央広域環境施設組合、徳島県、徳島県産業資源循環協会、阿波市婦人団体連合会
主な特徴	★協定締結産業廃棄物事業者の土地での実施 ★住民に対する災害廃棄物の分別の周知 ★重機デモンストレーションの実施

2. 仮置場設置訓練の概要

レイアウト図（案）をみながら、分別に応じた区画設置をコーン+コーンバー（区画の境や道路の中央等に設置）、ブルーシート（1区分2枚）、看板、一次受付、二次受付場所の設置、単品車両動線の確保、ライン引き等の設営作業を実施した。

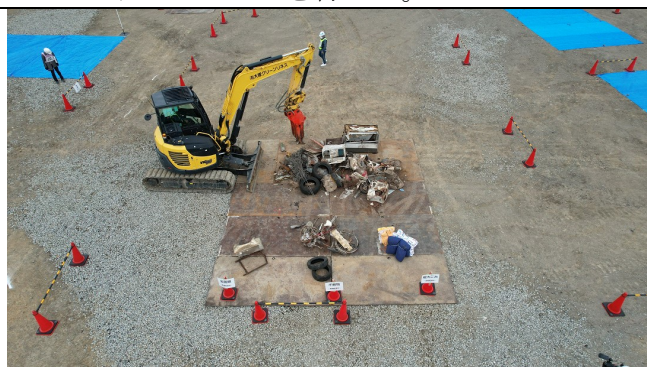
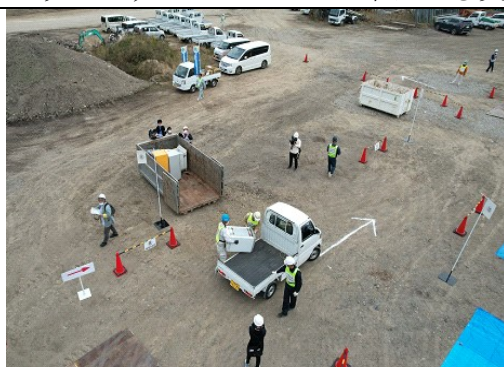
3. 受入れ訓練の概要

婦人団体の協力を得て災害廃棄物を積んだ車両（計17台）を、一次受付で積み荷内容をチェックし、単品積載車両の場合は単品車両動線に、混載車両の場合は二次受付に誘導をした。

手順書抜粋

4. 重機実動訓練の概要

バックホウとアームロール車による実動デモンストレーションを行った。

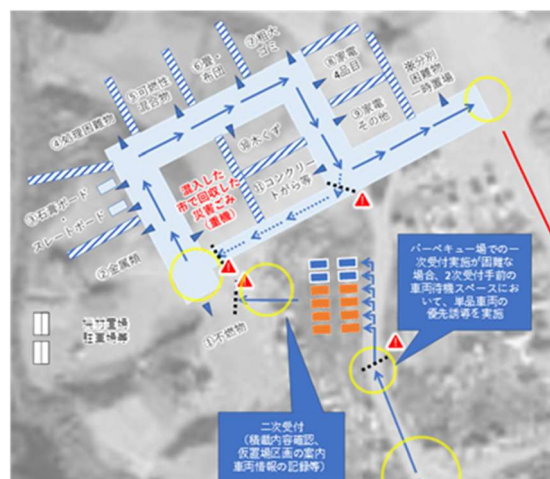


5. 実地訓練に係る課題の整理

訓練後に参加者及び見学者の振り返りを通じて課題が抽出した。

- 設営時の資機材運搬に軽トラ等を使用しても良い
- 場所により敷鉄板が大量に必要
- 通路の幅が狭い
- 一次受付で不適でも退場動線が取れない
- 荷下ろしする場所の幅寄せをしっかりと誘導する必要あり
- 混載車両の巡回ルートが必要
- 場内の速度制限が必要

【見直し後のレイアウト図】



第5章 仮置場設置運営手順書（案）

実地訓練の記録を踏まえ、各モデル地域の手順書を修正した。

【例：米子市一次仮置場設置運営手順書案 目次】

はじめに

手順書のポイント

- (1) 使用場面等
- (2) 前提

1 必要な資機材と人員の確保

1-1 使用可否及びレイアウト図の確認

(参考) 仮置場のレイアウト図の検討の方法

1-2 仮置場開設に向けた準備

(参考) 搬入車両の渋滞緩和策（ファストレーンの設置）

1-3 必要な資機材の確保・配置検討

- (1) 災害廃棄物の処理に必要な資機材の確保
- (2) 災害廃棄物の管理に必要な資機材の確保

1-4 運営に必要な人員の確保・配置検討

- (1) 人員の安全衛生のための保護具等の確保
- (2) 人員の確保と配置

1-5 留意事項の確認・徹底

2 住民への広報

3 仮置場の開設・運営

3-1 開設・運営に係る実施事項全般

- (1) 仮置場内作業
- (2) 火災防止対策
- (3) 土壌汚染の防止対策
- (4) 飛散防止対策
- (5) 悪臭及び害虫発生防止対策
- (6) 粉じん発生の防災対策
- (7) 作業員の安全管理
- (8) 仮置場保管量の把握
- (9) 受入停止の判断

3-2 災害廃棄物の搬入に係る特記事項

3-3 災害廃棄物の搬出に係る特記事項

- (1) 搬出先の確認
- (2) 搬出ルールの検討
- (3) (緊急的な搬出が必要な場合) 一括委託による搬出

